



★きらり☆保健師だより★

2019年度第3号 2020年2月14日
医療生協さいたま 保健師機能部会

保健師研修「まち歩き(地域診断)」を開催しました♪

医療生協さいたま保健師機能部会では、“地域をみる”視点を養い、保健師としての役割を考える機会として、今年度初めて卒後4～6年目の保健師を対象に「まち歩き(地域診断)」を開催しました。

11月19日(火)15名の保健師が参加し、大井協同診療所の周辺地域(ふじみ野市・川越市)をフィールドに3つのコースにわかれてまち歩きを行いました。

まち歩きの様子

各コースごとに事前に調べてきた地域の情報を共有して、まち歩きに出発!



Bコース (ふじみ野市)



組合員の福田さんから、地域で取り組んでいる健康づくりやつながりづくりの活動についてお話をうかがいました。その中で「病気なのか老化なのかかわからず不安な時がある」「相談できる場がない」とのお話があり、地域の中で気軽に相談できる場の必要性や、保健師が地域に出ていくことの必要性を改めて感じました。

Aコース (ふじみ野市)

オレンジサロンまつ おとな食堂「みんなでランチ」に参加。

当日参加されていた方や、責任者の三本松さんにお話をうかがいました。地域の方が集まって、みんなで食事をしたり、おしゃべりしたり、体操したり、誰でも気軽に参加できる温かい居場所になっていました。



組合員さんの案内でまち歩き



Cコース (川越市)

組合員の支部活動拠点「生畑目さんち」に参加。

川越東支部の組合員さん方から、組合員活動の歴史や、健康教室などの実際の取り組みについてお話をうかがいました。組合員活動が組合員同士のつながりづくりの場になっており、「困った時には助け合う」という関係性が構築されていました。



まとめ 報告会

12月18日(水)にまち歩きのまとめ&報告会を開催しました。各コースごとに地域の問題を分析・明確化し、地域のニーズや課題に対して「地域の人たちと協働しながらどのように活動するか」「自分たちに何ができるか」をまとめ、報告しました。



地域をみて、住民の声をきくことで、地域のニーズを把握することが大切

組合員活動を活性化するためには?

目指すは活動の定例化!

地域のつながりが大事!

若い世代を巻き込んでいきたい



「まち歩き楽しかった!」
みんなとってもいい笑顔◎

